

東日本大震災 関連情報（第 28 報）

平成 24 年 3 月 2 日
全国老人クラブ連合会

●東日本大震災に関する、老人クラブ関連の情報をお伝えします

- 岩手県老連から「応援ありがとう」の写真が届きました。

2 月 17 日に開催した岩手県老連女性部会において、救援拠金と元気袋支援に感謝して撮られたものです。この写真データは、各老連で自由にご活用ください。（掲載した現物は、岩手県老連へお送りください。）

女性部会では、県内各地からの支援活動も報告されました。

（別紙「いわて老連だより」第 66 号参照）

- 岩手県大槌町老連の取り組む「町の未来図パッチワーク」が紹介されました。

月刊『全老連』2 月号特集において報告した、一人ひとりのパッチワークで町を甦らせる活動が新聞で紹介されました。（別紙「岩手日報」2 月 29 日参照）

- 仙台市若林区 沖野地区老連から復興事業の案内が届きました。

仙台市若林区沖野地区老連から、救援拠金を活用した活動として「3.11 復興を願う芸能ショー」のチラシが届きましたので、全老連宛文書と共に報告します。

（別紙 仙台市沖野地区芸能ショー 参照）

●支援活動

- お礼を込めて手作りした灯籠を届けました。 [秋田県 ^{ごじょうめまち}五城目町老連]

五城目町老連は、震災時に岩手県大槌町のホテルに滞在していて、ホテル従業員や住民の支援をうけて地元へ戻ったという経験をしました。この縁から、大槌町老連との交流につながり、このたび震災から 1 年を前にして、灯籠を手作りして届けました。

（別紙「岩手日報」2 月 25 日①②参照）